

## 調理師専門学校の誘致に向けた動きについて

### 1 背景

茨城県古河市に所在を置く学校法人晃陽学園の齋藤理事長より、①内湾地区に親戚がいた関係で気仙沼に縁があり、復興の一役を担いたいと考えていること、②多様な食材の産地として調達の利便性が図られることなどの理由で、本市に調理師専門学校（以下、「気仙沼校」という。）を設立したいとの意向が平成26年7月に示されました。

本市としても、①若者が集まることによる地域の活性化や賑わいの創出、②本市食材に慣れ親しんだ調理師を多く輩出することによる情報発信効果、③地元の宿泊施設や飲食店等への就職、食に関連した起業等による移住定住促進など、スローフードや魚食健康都市など食を標榜する本市との親和性が高く、産業振興上においても様々な効果が期待出来ることから、気仙沼商工会議所、気仙沼信用金庫と連携を図りながら、立地に向けた環境整備・調整などの支援を行っているものです。

### 2 法人概要

- ・法人名：学校法人晃陽学園
- ・理事長：齋藤 行信
- ・所在地：茨城県古河市東一丁目5番26号
- ・設立：平成5年3月（学校法人認可）
- ・運営状況

茨城県古河市に晃陽看護栄養専門学校、晃陽学園高等学校、茨城県牛久市につくば栄養医療調理製菓専門学校（つくば校）を開校しており、看護師、救急救命士、栄養士、製菓衛生師、美容師など、多分野にわたる有資格者養成を行っていることから、学校経営のノウハウも豊富であります。在籍生は962名（H29.6.20現在）。

### 3 設立計画の概要

#### （1）気仙沼校について

- ①施設規模 鉄筋コンクリート3～4階 1,200㎡程度（内容検討中）  
実習室、事務室、職員室、保健室、校長室、図書室、普通教室等を整備予定

#### ②学科内容・定員

調理師学科：専門課程（昼間部2年制）入学定員40名 総定員80名  
高等課程（昼間部1年制）入学定員40名 総定員40名

※専門、高等課程とも、卒業と同時に調理師国家資格が取得出来ます。

※製菓製パンの技術養成についても、2年制コースで実習、校外研修など履修出来るような形とするほか、つくば校の通信課程製菓製パン学科とタイアップし、気仙沼校でスクーリングを受けながら製菓衛生師国家試験受験資格を取得できる形となります。

※同法人は日本大学通信教育部の連携教育校であり、気仙沼校においてもサテライト教室を設け、古河市での取り組みと同様に日大経済学部通信学科（4年制）を受講できるよう検討しています。

- ③開校時期：平成32年4月（予定）

## (2) 建設予定地について

①場 所 魚町・南町地区土地区画整理事業区域内の市有地及び民有地

### ②内湾地区選定理由

- ・当該学校法人と気仙沼との縁は内湾に起因しており、当該地区の復興に資したいとの思いと、水産物を中心とした食のまち気仙沼を象徴する地区との評価から当地への設置を希望しているものであること。
- ・内湾地区に「食」の専門学校を誘致することは、同地区の賑わい創出や、食を通じたまちづくりのコンセプトなどを位置づけた内湾地区復興まちづくり協議会の提言書とも合致していること。

## 4 想定スケジュール

- ・平成30年2月上旬 市と晃陽学園との立地基本協定等調印式
- ・平成30年3月末まで 晃陽学園が建設用地を取得（土地売買契約の締結）
- ・平成30年9月末まで 宮城県私学文書課へ学校設置にかかる計画書提出後、学校設置認可申請
- ・平成32年3月まで 学校設置認可取得
- ・平成32年4月 開校予定

## 5 本市での研修実施について

同法人は、地域を学びながら地域に根ざしたいという考え方のもと、平成27年から気仙沼大島や岩井崎等での自然体験や被災地の実体験講話などを聴講する2泊3日の修学旅行を実施し、これまで延べ611名（平成29年度時点）もの学生が本市を訪れています。